

鹿島市総合教育戦略会議（第11回） 議事録（概要版）

1 開催日時 平成28年6月6日（月）15時00分から16時39分まで

2 開催場所 鹿島市役所 3階 庁議室

3 出席者等

- ・法定構成員 樋口市長、江島教育委員会教育長、中島教育委員会委員、木原教育委員会委員、田代教育委員会委員
- ・市長部局 藤田副市長、橋村総務部長、大代総務課長兼人権・同和対策課長、橋村福祉課長、事務局（総務課職員 江頭、中島、吉田）
- ・教育委員会部局 染川教育次長兼教育総務課長、藤家教育総務課課長補佐

- ・外部関係 なし
- ・傍聴 なし

4 協議または調整した事項（確認事項含む。）

- (1) 第10回鹿島市総合教育戦略会議（H28.3.16）の議事録について
 - ・議事録素案の内容を確認
- (2) 鹿島市の子どもの教育に関するアンケートの結果について
 - 5 出席者の発言のとおり
- (3) 平成28年度の総合戦略会議のスケジュールについて
 - 5 出席者の発言のとおり

5 出席者の発言

司会：橋村総務部長

1 開会（橋村総務部長）

2 市長あいさつ

樋口市長 昨日は鹿島市の大きなイベントのひとつでありますガタリンピックが無事終わりましたが、子ども達が元気よく遊びまわっていて、久しぶりに心が温かくなるような風景でした。その中でひとつ、若い人たちが一生懸命朝からボランティアで参加していましたよね。御承知だと思いますが、前の晩に大変な風と波と雨で、相当なコンパネが流されました。ですから開会が45分遅れましたけれども、そのためにいろんなことで協力している状況を見ていて、逆に一生懸命手作りの大会をやってるなというふうにご覧になったと思います。あれもひと

つ教育的な効果があったと思います。そのことが、周りの子ども達、それから見ていた大人達にいろんな影響を与えただろうと思っています。そういう意味で、いろんな場面で動いていくということは大事なことだと思っています。特に香取から来ました子どもたちについて驚いたことをひとつふたつ紹介しますと、一人は「初めて海を見た」と、もう一人は、「趣味は駅伝です」と。「鹿島に青山学院が来ているんですか」と質問した子がいて、「大学の名前をいくつ知っているか」と言ったら4つ言いましたね。青山学院大学の他に東洋大学、その次は彼は早稲田と言ったんですね。そういうこともあって、いろんなことでちっちゃな子どもと久しぶりに意見や情報の交換をすることがあって、楽しい1日を過ごしたことを報告がてら御挨拶といたします。ありがとうございました。

3 確認事項

- (1) 第10回鹿島市総合教育戦略会議（H28.3.16）の議事録について
議事録（素案）の内容確認

4 協議事項

- (1) 鹿島市子どもの教育に関するアンケートの結果について

（大代総務課長 鹿島市子どもの教育に関するアンケートの結果について説明

市民の皆さんの意見を聞く方策の一つとしてアンケートを実施した。期間は5月の10日から5月の31日まで。対象者は各地区の区長、民生児童員、PTA、放課後児童クラブの指導員。全部で約350件。これは5月末時点での中間結果。質問1「現在市内に義務教育を受けている子弟がいるか」は、全体の回答者が148人で、「いる」という方が69名、「いない」という方が79名。質問2「現在の鹿島市の義務教育についてどう感じていますか」は、「満足している」が18.9パーセント、「どちらかといえば満足」が58.1パーセント、合わせて77パーセントで、義務教育については概ね満足しているというような回答結果。質問3「教育委員会の組織や働きをどのくらいご理解されていますか」は、「あまりよく知らない」が48.6パーセント、「全く知らない」が8.1パーセント、これを合わせて56.7パーセント。教育委員会というのがどんな組織なのかというのがあまり知られていないというのが今後の課題。質問4「学校やそのほかで子どもの教育についてどんなことを望みますか」は、「心の教育」「学力向上」「体力向上」の合計が一番多い水準で推移しているため、鹿島市の子ども教育大綱の目指すところは市民の皆さんと同じと思われる。特に「心の教育」は148人のうちの126人であり、重要視されている。その他特筆すべきものと

して「家庭でのしつけや教育の充実」。「その他」は、大人と子どもが気軽に声かけできる環境づくり、学び教室を全学校に、いじめ対策、慈善活動の推進、言葉づかい、思いやり、公園、イベント等。自由意見欄は、回答年齢の関係か、地域とか家庭での教育・連携を重んじられている。学力は、何が何でも学力を上げるというような意見は見受けられない。学校のハード・ソフト面は、放課後児童クラブの指導員さんにアンケートを出した関係上、放課後児童クラブの環境について記載されている。

- ・一番気になるのは質問3。お互いにそうだと思うが、接触するしかない。
- ・今の教育委員会の人数では、皆さん大変だと思う。法定の基準もあるが、絶対この人数でないといけないということではない。武雄は倍。
- ・教育委員としても非常に由々しき結果。ある程度市の組織のことについては知ってらっしゃるような人でこういう結果が出るということは、何か考えないといけない。
- ・教育委員として参加をするのは、学校関係と社会教育関係ぐらい。
- ・教育委員会という言葉そのものをどう捉えられたのか。いわゆる我々の教育委員会と捉えられたのか、市役所の中にある教育委員会事務局と捉えられたのか。
- ・そういう組織があるということは大概知っていらっしゃるが、教育委員会の内容、誰がしているかが分からない。
- ・教育委員さんが単独でされた方が良いのか、ある程度複数で共同で、委員会としてやった方が良いのか。
- ・よく知らないというのが半分以上ということであれば、「教育委員会とはこういうことですよ」ということを分かってもらうような活動をしないとイケない。
- ・教育委員会報というのも出すか。
- ・例えば教育委員会で審議、協議した内容を、結果報告のような形で市報に載せる。
- ・インターネットを利用できなければペーパーで来ないと情報が伝わらない。
- ・委員の紹介は就任した時にあるが、任期と就任日がバラバラ。委員が変わられた時に市報に載った記憶はない。
- ・そもそも誰がしてらっしゃるかさえ広報していない。
- ・普通の人達の前に揃っていくのは市民体育大会の開会式ぐらい。
- ・PTAの行事にも教育委員会として年何回か顔出しをしているのである程度わかってらっしゃる。
- ・議員さん達は、議会だよりも顔が載って文章も活動等書いてあるが、私たちは皆でしている活動だから書くことがないと思う。
- ・まず第1回目は教育委員会の役割、仕事内容ぐらい。
- ・ここじゃなくて外向けに。1番難しいのは、市長部局と教育委員会で議案を提案す

るところが非常に難しい。教育委員会は予算を提案することはできなかったか。議案権はなかった。

- ・そういう仕切りがなかなか分かりにくい。特に今回は戦略会議を作ったことによって、教育委員会事務局と市長部局の、端的に言うと総務課との、業務の仕切りが非常に難しくなっている。しかも人事は、市の教育委員会じゃなくて県の教育委員会がする。だから制度論としては非常におかしい。人事に関わることはできないのに、人事に伴う予算は要求されて、提案権は市長部局にある。
- ・その他に、学力向上というのは、要求レベルが高いと見るか低いと見るかと言う話。
- ・2つ目が、しつけの話が出ている。山の中に放置するというのは、しつけか虐待かという議論があるように、しつけは非常に難しい。
- ・学校でしないといけないかというところ。分担が分からない。
- ・鹿島の人達は何が何でも学力を上げろとは言っていない。少なくとも人に迷惑をかける程度の学力は付けてくれと。
- ・道徳としつけ、家でも教えられるところは教えるが、道徳自体どこまで道徳というのか。
- ・道徳は辞書的にはどういうことか。ある意味では皆同じだが、解釈的にも時代によって違うと思う。時代を問わない部分と時代によって違う部分をどうするか。
- ・だれでも最も悪いことは分かっていると思う。グレーのところ難しい。それと、絶対人にやっちゃいけないことは世の東西を問わない。
- ・忘れ物をする子が多い。朝の準備は親が手を出してしまう。自立できない。そこはしつけに繋がる。
- ・子ども達の睡眠時間が短い。夜遅くまで起きてビデオを見ている子もいる。今年の12月にスマホに関してルールを作った。
- ・しつけと道徳というのは非常に関連性のある言葉になってくる。
- ・鹿島小は異なる学年の交流による体験活動を通して、ひまわりタイムというのをしている。
- ・私たちの小さい頃でも、年上からして良いことと悪いことというのは遊びの中で習っていた。
- ・区長さん達が結構高齢でいらっしゃるから、道徳の授業というのはあまり見たことがない。保護者は結構見ている。授業参観の時に結構道徳の授業をしているので。
- ・子どもは昔遊びというのがある。異世代間交流事業は教科として老人クラブと。
- ・教育委員の人数は、教育長まで入れて今5人。小学校区から1人ずつぐらいの7人にしたらもう少し良いんじゃないかと思う。増やしたらここがこう変わりますというのがうまく言えれば。

- ・学校の先生はよく忙しい、人数が足りないと言われるが、じゃあ増やしたら頑張るのかと言う話。結局仕事が増えるだけ。
- ・昔と今はやっぱり全然違う。事務作業、報告文書、保護者対応が増えた。
- ・それは減らせる話。それこそ誰に報告しているのか。今度教育委員会で事務量を出してみしてほしい。
- ・見える化したらどうか。見えないから不信感が出ている。人数増やしてもらえばいい。事務補助をつけるとか。
- ・事務職員に教員がやっていた仕事を手伝ってもらうように変化している。
- ・地域の人と話した時に、先生が忙しいなんて誰も思っていない。本当に学校を知っている人は別だが。
- ・簡素化の方向性は県も国も持ってはいるが、いろんな関係団体が絡んでくる。
- ・知事の要請が毎年ある。教育関係で、先生が忙しいから仕事減らしてくれとはあんまり聞いたことがない。要請を出したらどうか。
- ・教育長会で事務所の所長あたりとそういった話をする。
- ・県も意識はしている。多忙化対策委員会をやってくださいと県が言ってくる。
- ・教育会でまず一番出てくるのは学級人数を減らせ、建物の補助を増やせ等。数を増やせというから揉める。財務省との関係で出来ない。
- ・仕事が減れば子どもと触れ合う時間も増える。
- ・そうやって授業時間を減らしたわけじゃないのか、ゆとりは。
- ・減ったのは、詰め込みだったからというのも大きな原因。ゆとり、ここで言うあの豊かな心というのが強く打ち出されて、色んな体験活動をしましょうと。
- ・要するに今までの教育方針が、一生懸命詰め込んで学力を上げろという方向に行ったり、豊かな気持ちを持って豊かな子どもたちを作れとか、いつも何年に一回か振れているような感じ。
- ・最近英語。今から先は情報処理。
- ・どこかの授業参観なんかは全学年道徳をされていた。
- ・ただ、評価はどうだったのか。
- ・昔は学校以外で、道徳的なことを縦の関係で習ったりしていたから良かった。
- ・そっちに責任があれば、社会教育の世界に、道徳としつけが混然一体となってくる。
- ・今の子どもを抱えた親世代がそういうことを教えることが出来ないようになってしまっているということでは。
- ・学校便りを校長が出しているが、そういった内容が含まれている。一緒になってやりましょうというようなこと。
- ・何かハウツー本みたいなものが若い家庭にあれば。

- ・それが学校の役目なのか、市のどこかの部署の役目なのか。生涯学習課か福祉課か。
- ・今ある幼児教育本は、早く教育させたら能力が上がるという方に傾斜している。早くしつけをしろというのはあんまりない。
- ・学校教育、生涯学習、福祉の観点から、例えばこの総合教育戦略会議で1枚のチラシや小冊子にしてもいい。
- ・今度は家庭のしつけと道徳とセットで議論するかどうか。学校の方は道徳の時間、福祉課長が持っていたのは家庭のしつけ、うまく組み合わせないといけない。
- ・一回道徳主任に来てもらって、話してもらってもいいのかもしれない。
- ・成果が良く分からない。例えば、非行が減ったとか。
- ・それはなかなか難しい。他の教科だったら数字ですぐ出てくる。心情に関するような調査をするものは有りはする。
- ・このアンケートで「望んでいます」というのに何と答えるか。一番市民ががっかりするのが、ちゃんとやっていますという答えにならない答弁。
- ・やってないと思われているわけだから、実はこういうことをやっているんですという教宣活動を。
- ・議会のやり取りを想定すれば、これをすぐ見せろとなる。こういう要求があるけどどう思っているかと聞かれる。どうするかを整理する場が戦略会議。
- ・保護者に出したらまた結果は変わってくる。少しバイアスがかかっているというなら、年内かけて、極端に言ったら市民全員に聞いてみるか。
- ・一つ目は、教育委員会のPRをなにかしないといけない。それは教育委員さんの中で議論を。二つ目は、ここに書いてある質問4の答えについて、どこまで言えるか、何をなすべきかの議論も。これはうちじゃないよって話になるのか、こういうことやればという話。三つ目は、自由記入欄。外向けにいずれオープンになるから、どうしても用意しとかなないといけないというのを、総務課と教育委員会と相談してピックアップするように。
- ・回答者の年齢別の状況も欲しい。大体保護者かそうでないかが想定できる。
- ・回答率も聞かれる。

(3) 平成28年度の総合戦略会議のスケジュールについて

- ・次までに整理しなければならないのが、教育委員会の働き、運営、とにかくPR不足。それと、家庭内でのしつけ、道徳。
- ・どうやって家庭内のしつけに働きかけるのか。ハウツー本ものを作るとか、道徳関係の主任に来てもらうとか、それもある程度教育委員会の中で。
- ・事務量について、データを集めて見える化する。

- ・集中的に年の初めにやって、年度末にプランを作って、チェックをしたい。6月7月と皆さんに議論してもらって、秋はそれぞれ実態を皆さんが現場に行くとか。
- ・早ければ夏休み前に1回やるかどうかぐらいの感じ。
- ・次回が7月1日に定例の教育委員会があるのでそこでもう1回。
- ・別に無理して入らなくていい。そこは教育委員会でいい、戦略会議じゃなくて。
- ・気になるのが、去年の議会の時。QUテストをした後、教育委員会、教育委員さん達とそのテストの結果をどういったふうに議論して反映するとか、そういった流れがあるのか。
- ・議事録をもう1回きちんと確認してもらって、皆さんお見せしたらどうか。それで態度を決めてもらったらいい。教育分野に興味関心の高い議員さんがいらっしゃる。
- ・それから、今日お配りしている施策リスト。この会議の中で実施をするかどうかというのも含めて、議論をしたい。特に調査結果等の情報公開をどこまでできるのかというのはきちんと整理しなければいけない課題。
- ・いじめは深刻なものはない。
- ・教育委員さんの人数は地区割りの話になると、今度は各地区に民生委員さんや社会教育委員さんがいらっしゃって、役割分担の話が絡んでくる。

6 その他

橋村総務部長 何かあればまた私たちが対応していきたいと思います。教育問題は非常に奥が深くて難しいなという感じがいたしました。でも今後ともまたよろしく議論をお願いして、これで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

(16:39)

・次回開催日 平成28年11月4日(金) 15:30

内容「未定」